



太田地区

人と人、人と地域のつながりは「地域のお宝」で、顔の見える関係から始まり、やがて支え合いへと育っていきます。企業も地域の一員として関わることで、5年後・10年後の未来の地域を支える力となります。ここでは、地域と共に歩む身近な企業の取り組みをご紹介します。



令和7年12月21日（日）、八幡町会館において、同町周辺にお住まい、または勤務する外国人技能実習生を招き、**八幡町青年部の餅つき**が開催されました。

この餅つきは、長年、八幡町青年部をはじめ、自治会や育成会が協力して実施してきました。子どもから高齢者までが集う町内の世代間交流の場として親しまれてきましたが、今回は初めて**多文化交流**の場ともなりました。

八幡町の多文化交流事業

この餅つきに参加した方に、中川さん（八幡北・民生委員）が「**着物を着てみませんか**」と声をかけ、令和8年1月24日（土）、中川さん宅で着物の着付けが行われました。

当日は矢島工業㈱に勤務するベトナムの20代女性2人が中川さん宅を訪れ、日本の文化を体験しました。

着物を着た後は、中川さんがお茶を振る舞い、和やかなおしゃべりに花が咲きました。中川さんとお2人の住まいはとても近く、「今度はお蕎麦を食べに来てね」と、**次の交流につながる**声かけもされていました。



地域のお宝発見 ～ 太田市生活支援体制整備事業 ～

12/21 餅つき

参加者に「イベントの感想」や「普段の過ごし方」を伺いました

矢島工業(株) 勤務の皆さま(中5名)と
IHA協同組合の皆さま(両端) ※人材コーディネート団体

餅つきは初めての経験でとても楽しかったです。

仕事がお休みの時は、家にいるか、誰かのアパートに集まって過ごしているので、こういう機会があればまた参加したいです。



ベトナム

インドネシア



ショートステイ八幡勤務の皆さま

餅つきがとても楽しくておもしろかったです。

仕事がお休みの時には、イオンなどに出掛けています。

職場の方がみんなとても親切なので、言葉や文化の壁があっても、なんとかなると思っています。

八幡西 川崎区長



餅つきをとっても興味深そうにやっているね。イベント自体に花が添えられたと思います。お互いに理解ができるステップになったね。



できたての餅を求めて長い行列ができました

1/24 着物の着付



着付け体験をしたお二人

同じ寮に住んでいて、毎日、自転車で一緒に通勤し、休日は、お互いの家でおしゃべりをする事が多いです。

中川さんからの誘いで、「着物を着てみたい」と思いました。

たくさん写真を撮ったので、ベトナムの両親にも送ります。日本語の勉強になったり、近くに知り合いができた、というだけでうれしく思いました。

八幡北
中川民生委員



八幡南 笠原区長

地域では、外国人によるごみ出しや騒音など、マナーをめぐる課題が生じることがあります。しかし、八幡南の笠原区長は、「こうした問題こそ、こちらからの声かけや丁寧な説明が大切。日常的なコミュニケーションが欠かせません」と話します。私たち日本人も、「声をかける勇氣」を持ち、お互いを理解し合っていくことが大切ですね。

〇お問い合わせ 太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 太田市飯塚町1549 TEL 0276-46-6208

つながる通信
過去の記事は
こちらから

